

中野通りの一部を歩行者主体の公共空間とする

現状の把握 (課題の抽出)

- ・コミュニティとしての広場空間の創出
- ・地域アイデンティティの弱さ
- ・公共的な量かさを体感できる場の欠如
- ・中野の玄関口としての格の不足
- ・世界的に脱自動車のトレンドにある

解決案

- ・自動車から人へ空間を取り戻す
- ・昭和時代のような活気あるコミュニティ空間の創出
- ・中野通りの桜並木の延長
- ・駅前空間に一体感を生み出す
- ・玄関口としてふさわしい都市デザイン



道路を自動車が走る空間から歩行者主体の空間へ

コンセプト

歩行者主役の都市空間の創出

本企画での提案プロジェクト

中野通り歩行者道化プロジェクト

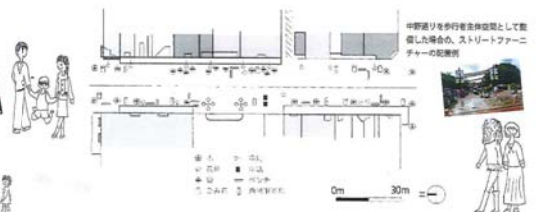
プロジェクト対象地区



- ・自動車を気にせずに自由に人々が行き交う活気ある空間にする
- ・中野通りの名物である桜並木を駅前まで延長し中野の玄関口にふさわしい象徴的なデザインにする
- ・様々な人々が行き交えるユニバーサルデザインを用いる
- ・中野の特色である活気ある買い物空間と主要スポットである中野サンパザを繋ぐ
- ・歩行者天国をただの通りとして扱うのではなく、催しを行ったり舞台を出す等して、空間の魅力で人を呼び込めるものにする

自転車交通誘導策

国鉄の自転車交通は次の代替ルートに誘導することを目指す



中野通りを歩行者主体空間として整備した場合、ストリートファニチャーの配置例

